

事務事業評価シート

作成：生涯学習課文化会館係

(1)事務事業	文化会館自主事業				
(2)根拠 (法令、 計画)	野木町文化会館運営審議会設置要綱				
(3)事務事業 目的	町民が優れた文化芸術に触れる機会を提供し、クラシック音楽や笑いの文化を積極的に取り入れ、鑑賞や体験を通して野木町の文化向上を図る。				
(4)事務事業 内容	野木町文化会館の各種イベントの開催				
(5)対象者	すべての町民及び近隣住民				
(6)成果指標	成果指標 1：事業参加・入場者延べ人数(人)				
(7)活動指標	活動指標 1：自主事業の企画・実施(回) 活動指標 2：共催事業の実施(回)				
(8)目標達成状 況		単位	令和 3 年度実績	令和 4 年度実績	令和 5 年度実績
	成果指標 1	〔回〕	406	3,251	3,634
	成果指標 2	〔回〕	5	14	16
	活動指標 1	〔人〕	1	3	2
	活動指標 2	〔 〕			
	活動指標 3	〔 〕			
(9)成果・効果	文化会館運営審議会で出た委員の皆様からの意見の他、各種イベントでお客様から頂いたアンケート結果を各事業に反映し、より良い事業を企画・実施することができた。 令和3年度については新型コロナウイルスの影響で、思うように事業を実施することができなかったが、それ以降は通常通りの運営に戻り、コロナウイルス前よりも入場者数を増やすことができた。				

〔単位：千円〕

		No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			実績	実績	実績	
(10) コスト分析	財源内訳	国庫支出金	①		3,924	
		県支出金	②			
		地方債	③			
		その他	④	350	1,766	1,266
		一般財源	⑤	5,952	8,481	4,325
	事業費	⑥	6,302	10,247	9,515	
	人件費	⑦	5,688.9	5,695.2	5,776.1	
	正職員数	⑧	1	1	1	
	トータルコスト ⑥+⑦	⑨	11,991	15,943	14,992	
	住民基本台帳人口	⑩	25,233	25,099	24,960	
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕	⑪	475.2	635.2	600.6	

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	講師謝礼等	一財	140	無
	2	消耗品費	国庫、その他、一財	300	無
	3	食糧費	国庫、その他、一財	31	無
	4	印刷製本費	国庫、その他、一財	992	無
	5	手数料等	一財	315	無
	6	広告料	国庫、その他、一財	550	無
	7	委託料	国庫、その他、一財	6,212	無
	8	使用料及び賃借料	一財	353	無
	9				
	10				

(12)細事務事業に係る考察	文化の向上を図るためにも優れた文化芸術に触れる機会を提供し、多くの方に来館していただけるようなイベントを実施するためのコストであり、コスト削減が難しい。	
(13) 評価	今後の方向性	維持
	文化の向上のためにも、現状で満足せずに町民及び近隣住民の方がより多く来ていただけるようなイベントを実施できるようにしていく。	

事務事業評価シート

作成：生涯学習課文化会館係

(1)事務事業	文化会館一般事務事業				
(2)根拠 (法令、 計画)	野木町文化会館設置及び管理運営条例、同施行規則				
(3)事務事業 目的	地域住民や文化団体等が身近なところで多様な文化活動ができるよう町民のニーズに応えるために、あらゆる施設を有効に活用するための方策について検討する。				
(4)事務事業 内容	貸館受付調整事務や、文化会館の有効利用の提案、稼働率向上のための宣伝。				
(5)対象者	すべての町民及び近隣住民				
(6)成果指標	成果指標 1：文化会館施設稼働率(%)				
(7)活動指標	活動指標 1：貸館受付調整事務(回)				
(8)目標達成状 況		単位	令和 3 年度実績	令和 4 年度実績	令和 5 年度実績
	成果指標 1	〔回〕	34	46	42
	成果指標 2	〔 〕			
	活動指標 1	〔%〕	12	12	12
	活動指標 2	〔 〕			
	活動指標 3	〔 〕			
(9)成果・効果	条例等の規定に基づき貸館業務を実施しており、月の初めに受付調整を行うなど、公平性も高い。また、館内見学ツアーや、イベント情報誌等で会館の使用例を宣伝したりと、新規利用者の獲得に効果が出ている。				

〔単位：千円〕

		No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			実績	実績	実績	
(10) コスト分析	財源内訳	国庫支出金	①			
		県支出金	②			
		地方債	③			
		その他	④	151	151	138
		一般財源	⑤	3,093	3,752	3,930
	事業費	⑥	3,244	3,903	4,068	
	人件費	⑦	5,688.9	5,695.2	5,776.1	
	正職員数	⑧	1	1	1	
	トータルコスト ⑥+⑦	⑨	8,933	9,598	9,844	
	住民基本台帳人口	⑩	25,233	25,099	24,960	
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕	⑪	354.0	382.4	394.4	

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	補助事務員報酬	一財	879	無
	2	消耗品費	一財、その他	268	無
	3	食糧費	一財、その他	9	無
	4	修繕料	一財、その他	90	無
	5	使用料及び賃借料	一財、その他	1,375	無
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				

(12)細事務事業に係る考察	多様化する文化活動の支援をするとともに、使いやすい文化会館を目指し、受付事務の合理化を図るためにコスト削減は難しい。	
(13) 評価	今後の方向性	維持
	稼働率向上のために、館内見学や相談業務を随時実施していく。	

事務事業評価シート

作成：生涯学習課文化会館係

(1)事務事業	文化会館施設管理事業				
(2)根拠 (法令、 計画)	野木町文化会館設置及び管理運営条例、同施行規則				
(3)事務事業 目的	文化活動の拠点にふさわしい、文化の薫る文化会館の環境整備に努める。				
(4)事務事業 内容	経年劣化による施設内外の修繕・整備。 会館使用に係る相談業務の実施。				
(5)対象者	すべての町民及び近隣住民				
(6)成果指標	成果指標 1：文化会館一般貸館入場者数(人)				
(7)活動指標	活動指標 1：使用打合せ及び相談(回)				
(8)目標達成状 況		単位	令和 3 年度実績	令和 4 年度実績	令和 5 年度実績
	成果指標 1	〔人〕	18,646	34,870	43,285
	成果指標 2	〔 〕			
	活動指標 1	〔回〕	64	76	100
	活動指標 2	〔 〕			
	活動指標 3	〔 〕			
(9)成果・効果	文化活動の支援をするとともに、使いやすい文化会館を目指し随時相談業務を実施しています。多様化するニーズに対応し稼働率も概ね良好であり、利用者数増につながっている。				

〔単位：千円〕

		No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			実績	実績	実績	
(10) コスト分析	財源内訳	国庫支出金	①			
		県支出金	②			
		地方債	③			
		その他	④	7,582	7,562	7,487
		一般財源	⑤	45,254	49,215	61,840
	事業費	⑥	52,836	56,777	69,327	
	人件費	⑦	5,688.9	5,695.2	5,776.1	
	正職員数	⑧	1	1	1	
	トータルコスト ⑥+⑦	⑨	59,663	63,611	76,258	
	住民基本台帳人口	⑩	25,233	25,099	24,960	
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕	⑪	2364.5	2534.4	3055.2	

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	会計年度任用職員手当	一財	380	無
2	会計年度職員共済費	一財	357	無	
3	消耗品費	使用料・手数料、 その他、一財	499	無	
4	燃料費	一財	1,187	無	
5	光熱水費	一財	18,359	無	
6	修繕料	使用料・手数料、 その他、一財	2,245	無	
7	委託料	使用料・手数料、 その他、一財	18,889	無	
8	使用料及び賃借料	一財	16,012	無	
9	工事請負費	一財	12,498	無	
10	文化会館使用料還付金	使用料・手数料	2,601	無	

(12)細事務事業に係る考察	今後も施設設備の老朽化に伴う修繕が必要であるため、緊急性・経済性を考慮して計画的に対応していく。	
(13) 評価	今後の方向性	維持
	サービス低下を招かないためにも、現状を維持しつつ利用者が安心して施設利用できるよう老朽化した箇所を日頃より計画的に修繕していく。	

事務事業評価シート

作成：生涯学習課文化会館係

(1)事務事業	文化祭開催事業				
(2)根拠 (法令、 計画)	野木町文化祭実行委員会設置要綱				
(3)事務事業 目的	町民が自主的に創造的な芸術文化活動を展開できるよう、文化会館と公民館を拠点に町民のニーズに即したイベントを行う。				
(4)事務事業 内容	実行委員会及び運営委員会を組織し芸能発表会、音楽会、展示発表会等を開催する。				
(5)対象者	すべての町民及び近隣住民				
(6)成果指標	成果指標 1：文化祭参加者数(人) 成果指標 2：文化祭来場者数(人)				
(7)活動指標	活動指標 1：実行委員会(回) 活動指標 2：運営委員会(回)				
(8)目標達成状 況		単位	令和 3 年度実績	令和 4 年度実績	令和 5 年度実績
	成果指標 1	〔人〕	0	633	751
	成果指標 2	〔人〕	0	3335	3465
	活動指標 1	〔回〕	1	2	2
	活動指標 2	〔回〕	0	4	4
	活動指標 3	〔 〕			
(9)成果・効果	新型コロナウイルスの影響によりR3年度は中止となったが、文化祭を実施することにより、町内の文化団体・サークルに発表の場を提供している。文化振興のさらなる発展および文化の薫り高いまちづくりの実現において必要不可欠である。				

〔単位：千円〕

		No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			実績	実績	実績
(10) コスト分析	財源内訳	国庫支出金	①		
		県支出金	②		500
		地方債	③		
		その他	④		
		一般財源	⑤	1,313	813
	事業費	⑥	1,313	1,313	1,470
	人件費	⑦	5,688.9	5,695.2	5,776.1
	正職員数	⑧	1	1	1
	トータルコスト ⑥+⑦	⑨	8,140	8,147	8,401
	住民基本台帳人口	⑩	25,233	25,099	24,960
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕	⑪	322.6	324.6	336.6

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	食糧費	県、一財	145	無
	2	文化祭実行委員会補助金	県	1,325	無
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				

(12)細事務事業に係る考察	文化振興の中心となる文化祭を開催するためにもコスト削減は難しい。 高齢化や新規サークルの育成、来場者の増加についても、各サークルへの支援のためにコスト削減は難しい。	
(13) 評価	今後の方向性	維持
	現状の内容を維持しながら、今後も継続していく。	

事務事業評価シート

作成：生涯学習課文化会館係

(1)事務事業	文化協会事務事業				
(2)根拠 (法令、 計画)	野木町文化協会会則				
(3)事務事業 目的	町民の芸術文化活動への参加促進のため、町文化協会と連携した各種初心者対象講座の実施の支援や、文化振興のための普及啓発等のPR活動の検討、近隣市町との文化交流の促進を図る。				
(4)事務事業 内容	初心者対象講座、文化のつどいを開催する。				
(5)対象者	すべての町民及び近隣住民				
(6)成果指標	成果指標 1：文化協会会員延人数(人)				
(7)活動指標	活動指標 1：初心者対象講座(講座) 活動指標 2：文化のつどい(回)				
(8)目標達成状 況		単位	令和 3 年度実績	令和 4 年度実績	令和 5 年度実績
	成果指標 1	〔人〕	499	451	441
	成果指標 2	〔 〕			
	活動指標 1	〔講座〕	0	3	2
	活動指標 2	〔回〕	0	1	1
	活動指標 3	〔 〕			
(9)成果・効果	R3年度については初心者講座・文化のつどいともに実施することができなかったが、R4年度からは実施することができた。町民の芸術文化活動への参加促進および文化の薫り高いまちづくりに大きく寄与している。				

〔単位：千円〕

		No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			実績	実績	実績
(10) コスト分析	財源内訳	国庫支出金	①		
		県支出金	②		
		地方債	③		
		その他	④		
		一般財源	⑤	380	380
	事業費	⑥	380	380	350
	人件費	⑦	5,688.9	5,695.2	5,776.1
	正職員数	⑧	1	1	1
	トータルコスト ⑥+⑦	⑨	7,207	7,214	7,281
	住民基本台帳人口	⑩	25,233	25,099	24,960
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕	⑪	285.6	287.4	291.7

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	町文化協会補助金	一財	350	無
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				

(12)細事務事業に係る考察	高齢化、文化活動の多様化により会員の減少などの問題解決が必要なためコスト削減は難しい。	
(13) 評価	今後の方向性	維持
	サービス低下を招かないためにも、現状を維持しつつ利用者が安心して施設利用できるよう老朽化した箇所を日頃より計画的に修繕していく。	